

日本名所風流千景集

卷ノ三

中村俊定文庫
文庫 18
923
3



上野国吾妻郡今井村瀬戸の瀧之景



まぐらに
浴せられ
流るる
正徳

瀧
柳汀

中村俊定

中村俊定文庫

豊後國分郡九嶷山畧景

卷三

目下少き月
未ださる可
嶷北



羽後國北秋田郡大野臺之景

卷三

古より
坂を
安
よ
遊
花
在



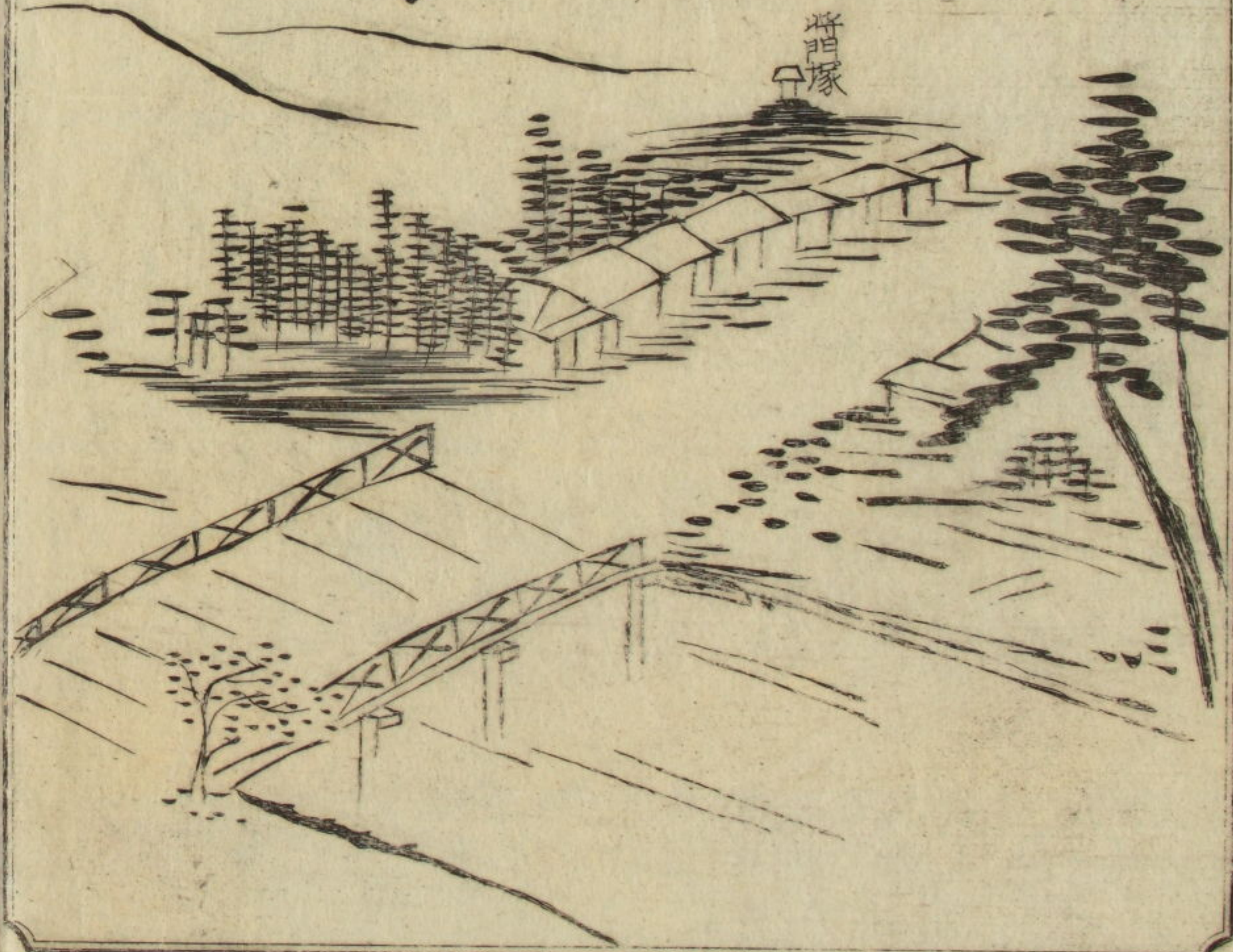
加賀国手取川天狗壁絶景

可憐の鳥や
子屋ふ
あはれ水の
き
空とみ



近江國仲仙道歌詠橋之絶景

汲あま
なげの
流れ
なごり
近江
道



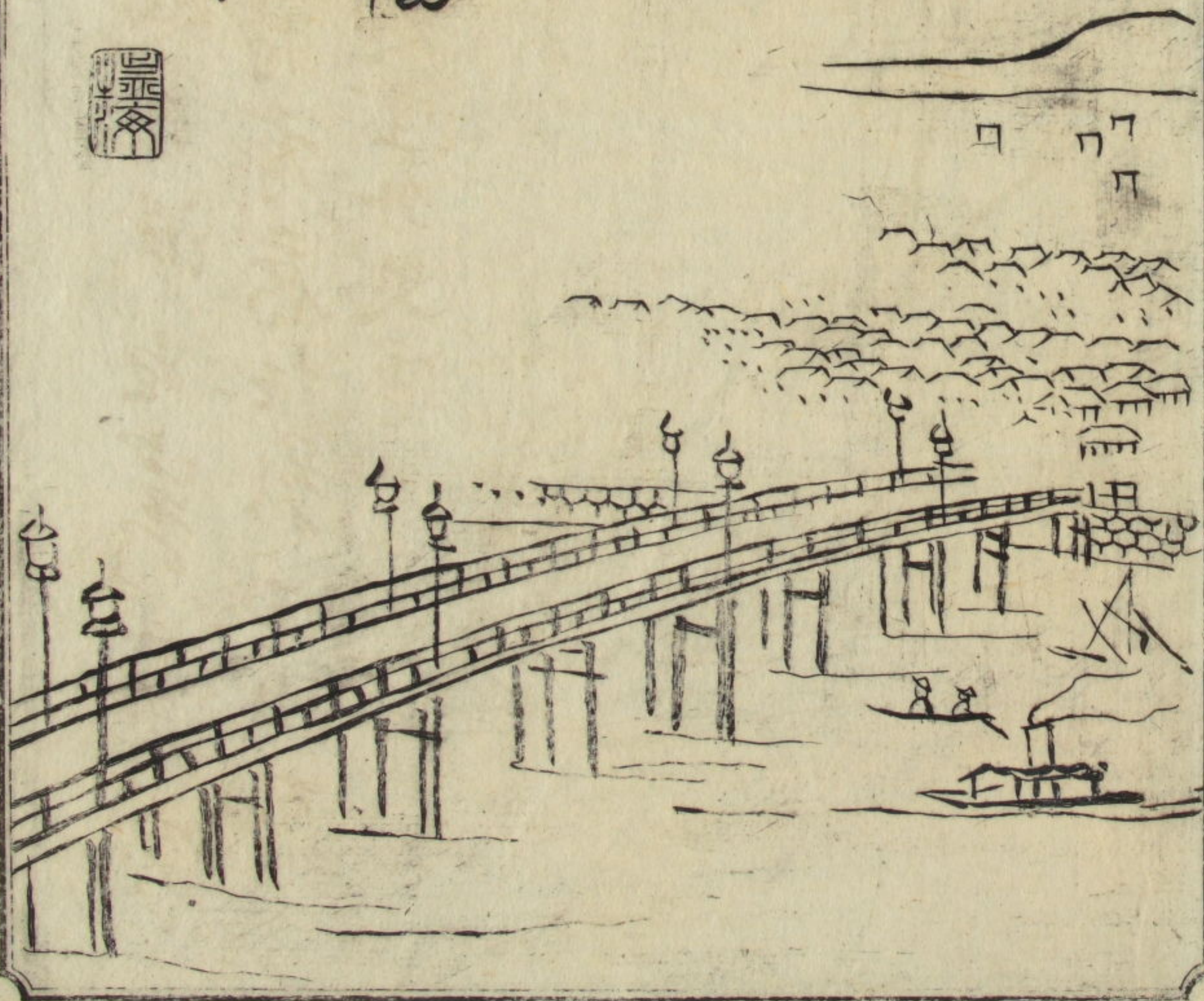
景 / 鼻蛇大村田浦郡田秋北国后羽

湛々寒流廻作淵如露一角突
清漣半空時有喬松影
迓信大地
將上天
趨堂外史運



景 / 橋代万川濃信市瀉新國後越

月涼々
萬代瀉
橋代
瀉



常陸國桃源之境之景



あまのつとむる
やあみたり
とふ人たえぬ
桃のころり

閑山

磐城國大瀧山鬼窟之肖圖



西み峰

山

のり

大瀧

山

山

山

明月也

素うへり

澄々

清砂川

むの
稲雄



悪きこすを猿賀の神
大沼清砂川を

流身をもむ寺大沼の
安保 知山

清砂川

湧りきる如き

神の息み



社、北気賀敦社中幣国宮、一国前越



提灯の

中

岸

ねむり

三郎山

景之港毛増国塩天道海北



ふしやふ帆

浦如と海北景

天塩
月吉庵

卷之三

卷之三

讚岐國足郡飯ノ山一名讚岐富士



吟
ハ
ミ
ウ
ノ
小
ノ
山
ノ
飯
ノ
郡
足
ノ
讚
岐
國

陸

常陸國袋田ノ瀑布



常陸國袋田ノ瀑布
中ノ有瀑布者其水
滔天漢之水頗有
濕着路人薜蘿衣

福田山



此之在
 似神
 而所
 有也
 有以
 意似
 醉
 後
 已
 退
 之
 物
 多
 如
 山
 之
 夕
 花
 更
 破



美作
 国
 西
 之
 余
 郡
 神
 戸
 之
 櫻
 樹
 之
 畠
 曲
 水

景絶の嶽ヶ間浅ては姿見士富りとはの川流愛るも濃信



あらしの中よきう
 たけのこ
 雲の山
 お風

巻之三

景絶跡旧之坂巢鳶村巢鳶郡縫楯国雲出



あらしの中よきう
 たけのこ
 雲の山
 お風

巻之三

五十一

遠湖八景之内龍嶺暮雪



空低う

暮雪

明く

雪は峰

米友

卷之三

武藏国久良岐郡太田村五郎九郎之跡



此の五郎九郎の跡

人知りぬ暮も存ねよ

むしり跡れ

との下

湖ハ深とうりふ

玉味宮と

仙

卷之三

六

風そよそよのまろをよかけ清く

古道

よむ月影つゝ楊りまひまむ

古

いふ人の人ねまらうもかけ清く

いふまらうつせらゆゝまらば井

久重

かけ清くは井のやれんるまら

昔を汲ぬ人ふらんり



全

圖

憲

雅ひしその武方名よけちぬ

は清まかけ清ま、せ芦沢の井

保苗

いゝまなま、身を忍ひつ痛く末

やねふとれふし、芦沢のま

壽朝

ね乳をうさ添て

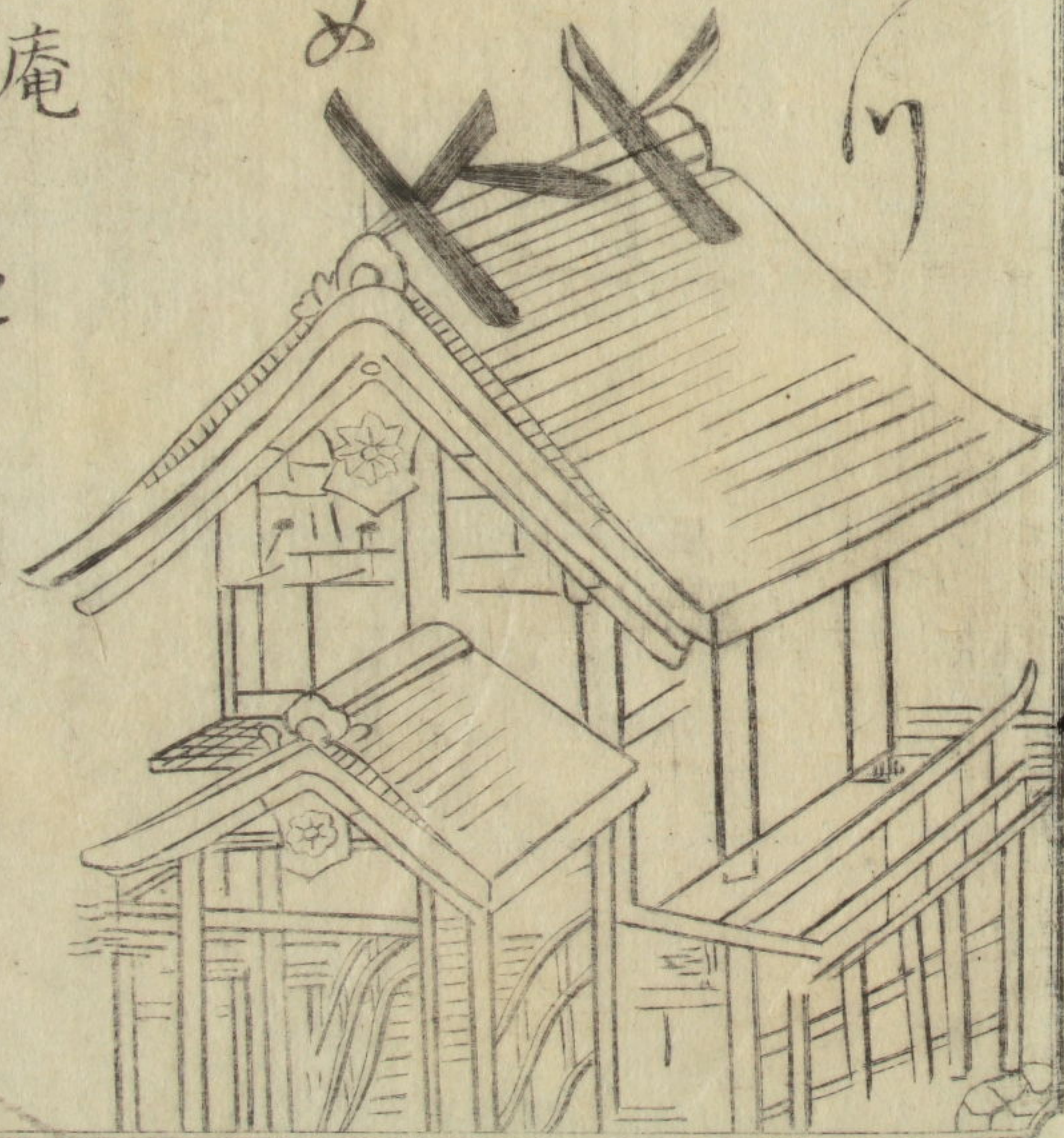
涙のそとさ

小



八雨多たけり
出雲の
宮や
神自亦め

更衣庵
むく免



清風
富士筑波
利根も
浪路裳
つと海たみこ
一聲
窓の多
やうな
芥田や
今日の月



常陸國水戸市偕樂園之圖



市所西郊樹々如
 々々列々志々業
 々々々々々々々々
 其在淡烟疎雪瑞中

福田
 宗山

上野國吾妻郡大村戶村落合瀑布圖



一條飛瀑掛長川 雲起風
 舞簇冷烟宛似怒雷轟
 震地白虹直下斷崖 山岳

七十五度 乾亨曆

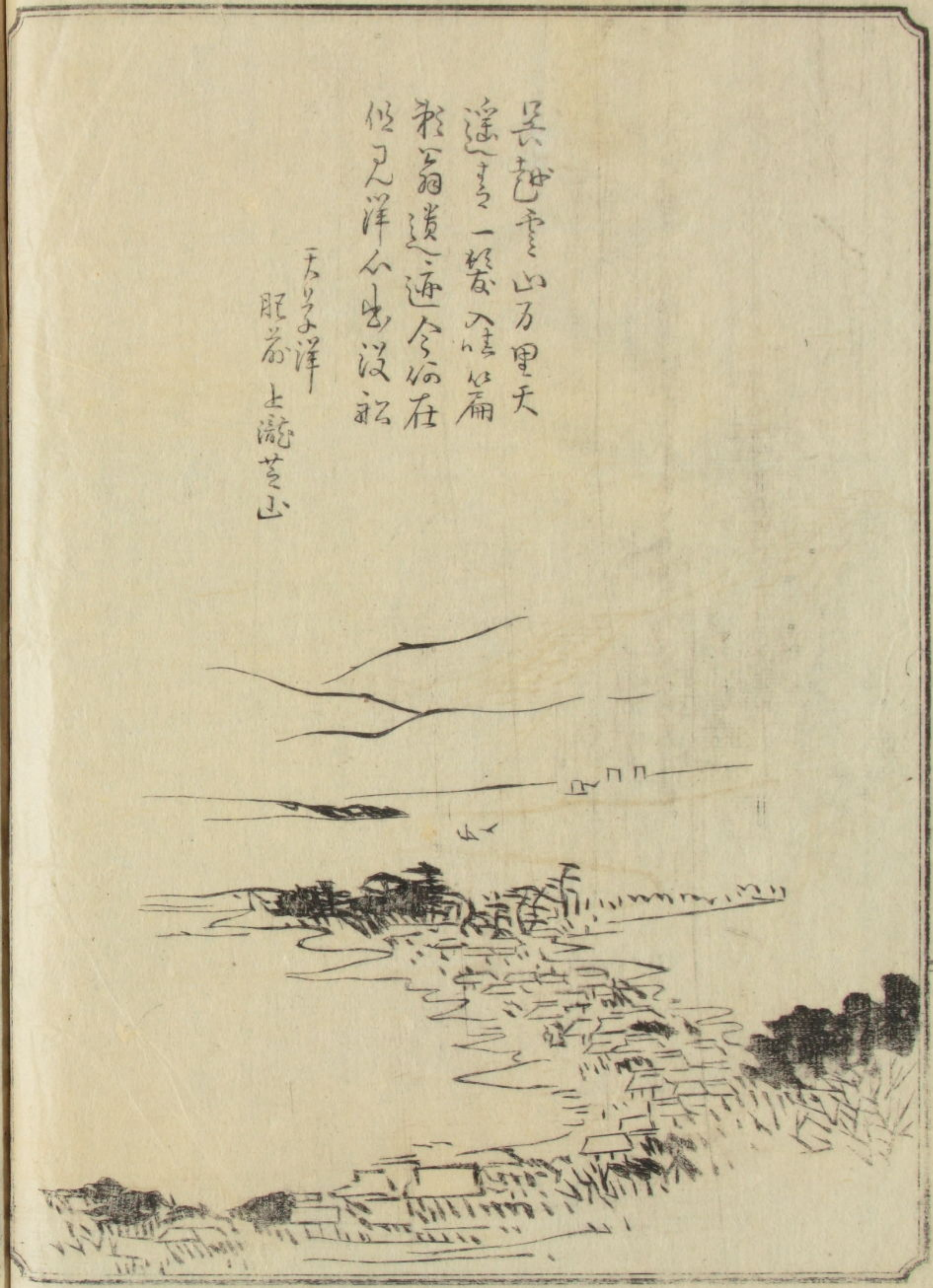
庚寅秋九月

我理兮推之寫



吳越や山万里天
途より一登入は篇
新編道途今何在
似て洋人出没記

天州洋
肥前と流る山



湯出温泉

湯出温泉

湯出温泉

二頁

湯出温泉

湯出温泉

湯出温泉

湯出温泉

湯出温泉

湯出温泉



豊前國企救郡中谷村瀧川景



交山此子其死
 空のさや
 瀧の音
 雲の影

信濃國伊奈川橋風越山遠景



平あさりのひこらの
 子も自あたり
 もよ志はまゝ
 風越の峰
 澄水

信濃國相初川之景



種々

五和川

のり

榊

北海道膽振國有珠郡白嶽之景



冬

三

ま

水



白岩の白き岩

山形路の難

松島係直

天

卷之三



深を留後ふ

十輪田の

樹々や

果古より

卷之三

六十七

景誓道山銅沢小郡田秋北國后羽



仁の心
ふりてよまらるる
そこを流るる水
行かふ人を
あきらむる人
夜
暮る
月
光

景之寫鹿男田秋郡田秋南国后羽



花はく
柳の上や
玉子の月
梅の花
玉子の月
あきらむる
玉子の月
あきらむる
玉子の月
あきらむる
玉子の月

卷之三

卷之三

世に
あり
つら
あり
はな
乃
桜
武
見
二



山
の
水
の

花
の
水

の
水

初
日
の
水

と
も
の
水
の
水

水
の
水
の
水
コウ



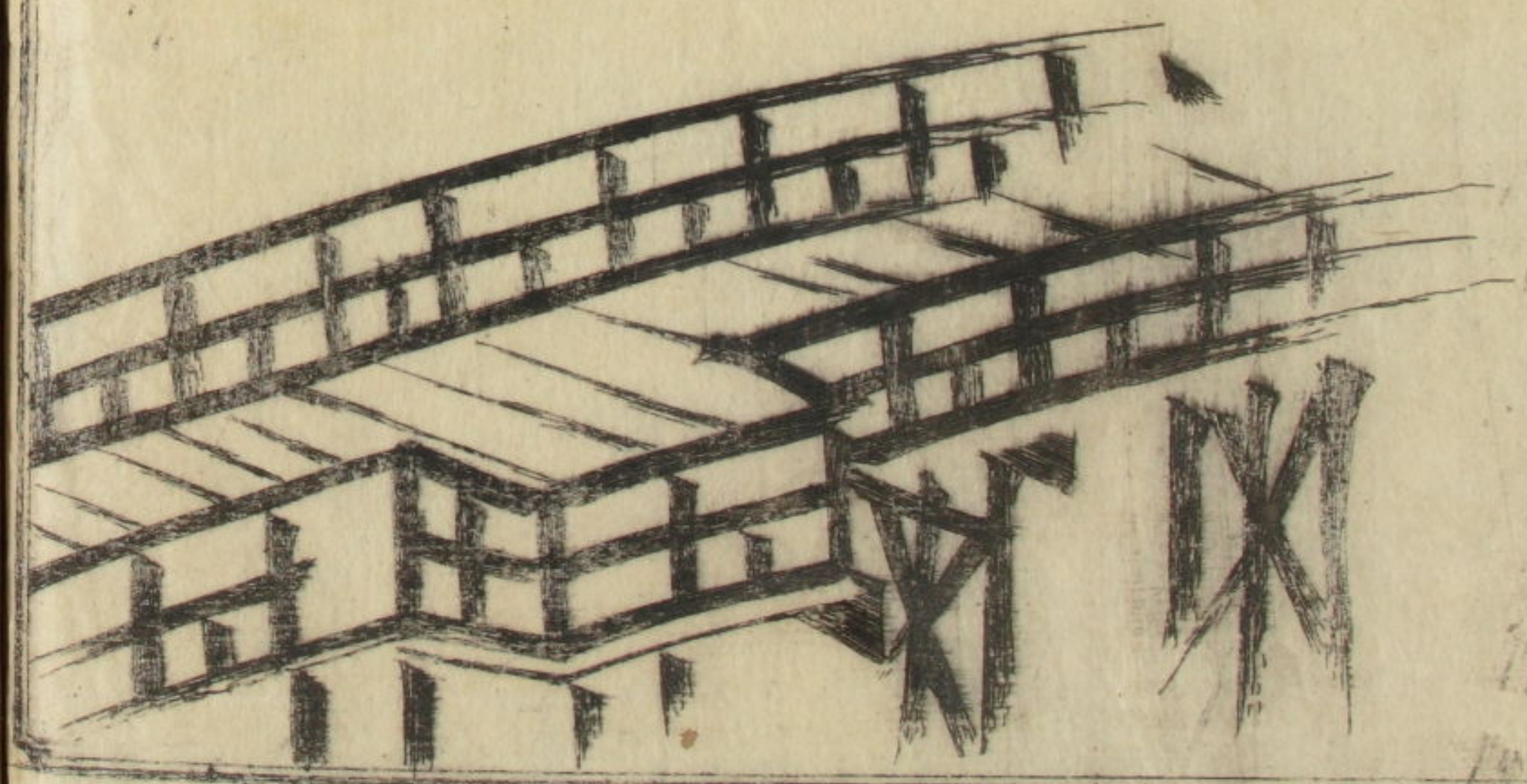
宇治の川

高勢

宇治の川

又世々

と申す



尾長
相海

宇治や都

花の時ふ

推来猿田彦神社

宇治の夕日の

宇治や山お祭

下総
新行

清水

宇治

宇治の秋

と申す

江の灯籠

宇治の夜

むらじの角田川

水機

天の宮

園治
羊山

朝の宇治の川

宇治の塔の上

少室山東 静山
言かぬ花も
雪の記り

静山 雨山 山山 山山
けしきや
あまの風

修後山山
月を伴目高の
晴や山山

山山

福山 積山 積山 積山
れ山 積山 積山 積山

はしの花も
さらけの月
山山

永源山 性山 性山 性山
源山 源山 源山 源山

更山 福山 福山 福山
福山 福山 福山 福山

山山 山山 山山 山山
山山 山山 山山 山山

山山 山山 山山 山山
山山 山山 山山 山山

遠き^下 遠き^下 遠き^下
遠き^下 遠き^下 遠き^下

不^下 不^下 不^下
不^下 不^下 不^下

静 五

入や本ま

六^下 六^下 六^下

凌^下 凌^下 凌^下

老の日記

梅^下 梅^下 梅^下

花見^下 花見^下 花見^下
花見^下 花見^下 花見^下

旅^下 旅^下 旅^下

布^下 布^下 布^下

通^下 通^下 通^下

志^下 志^下 志^下

舟^下 舟^下 舟^下

ほと^下 ほと^下 ほと^下

床^下 床^下 床^下

世^下 世^下 世^下

離^下 離^下 離^下

所^下 所^下 所^下

野^下 野^下 野^下

度^下 度^下 度^下

澄^下 澄^下 澄^下

星^下 星^下 星^下

山^下 山^下 山^下

道^下 道^下 道^下

海^下 海^下 海^下

千代津小 果樵
川よはふきむらり
秋の夕風

新嘉山
岩水下く浸して
暮き南
兼代
月

梅津
菜の花や板おきほ
川向ひ
芦花

信勢内宮
おろすとは余所の
るるれみ海山 ^{上野} 峩峩
道灌山
花は破眼をさほ
けり小松山 ^{東条} 丹若

初冬浦一
欠伸しつこねもひを
雲のまがみ ^下 菅原

通つて揺る
るるるる揺るのふも
あふおれあふ

言ひしあつて
あつしを年く祝 ^古 梅香
於津く少夜徳

あつたの令下
あつた ^{あつた} 松香
あつた ^{あつた} 松香
あつた ^{あつた} 松香

新加神也
後の
久

下抄の
三

揚
永代揚

福
舟

茅場
世の病

や
風

再

後
初

あり
又

揚

三

福
舟

